

土地・不動産に関するトピックス情報

● LIFULL、中国の大手不動産仲介会社と国際不動産投資分野で業務提携：LIFULL

LIFULLは1月24日、中国全土32都市に8000店の直営店を構える中国最大級の不動産仲介会社 链家（Homelink）と、国際不動産投資分野において業務提携したことを発表した。この提携に基づき、「LIFULL HOME'S」に掲載中の投資用不動産物件情報を「链家（Homelink）」にも掲載する。Homelinkは、日本の不動産への投資を検討する中国人不動産投資家に対して、「链家（Homelink）」サイト上および対面の営業活動において、これらの物件を紹介する。Homelinkを通じて入った中国人投資家からの問い合わせについては、LIFULLの国際不動産投資専門チームが通訳・翻訳等を行い、売主（デベロッパー、売業者等）との売買取引をサポートする。さらに、中国人投資家の日本不動産購入後のプロパティマネジメントについても、同社が窓口となり管理会社等との調整を行う。

これにより、Homelinkの顧客（中国人不動産投資家）にとっては、日本国内でより豊富な選択肢の中から不動産投資を行うことが可能になる。「LIFULL HOME'S」の顧客（デベロッパー、仲介事業者、管理会社等）にとっては、より多くの中国人不動産投資家とのマッチングの可能性が広がり、言語の不安なく中国人不動産投資家との売買取引や物件管理を行うことが可能となる。

[ニュースリリース：LIFULL](#)

● 大和ハウスグループ、既存住宅専門ブランドの立ち上げ：大和ハウス

大和ハウス工業は、大和ハウスグループ7社と、既存住宅の売買仲介、買取再販、リノベーション・リフォームなどの住宅ストック事業を強化するため、グループ統一の新ブランド「Livness（リブネス）」を1月19日に立ち上げた。

「リブネス」の立ち上げを機に、グループ各社が全国に展開する営業拠点網や不動産仲介ノウハウ、点検・リフォーム技術など、グループで保有する経営資源を最大限活用しワンストップサービスを提供する。

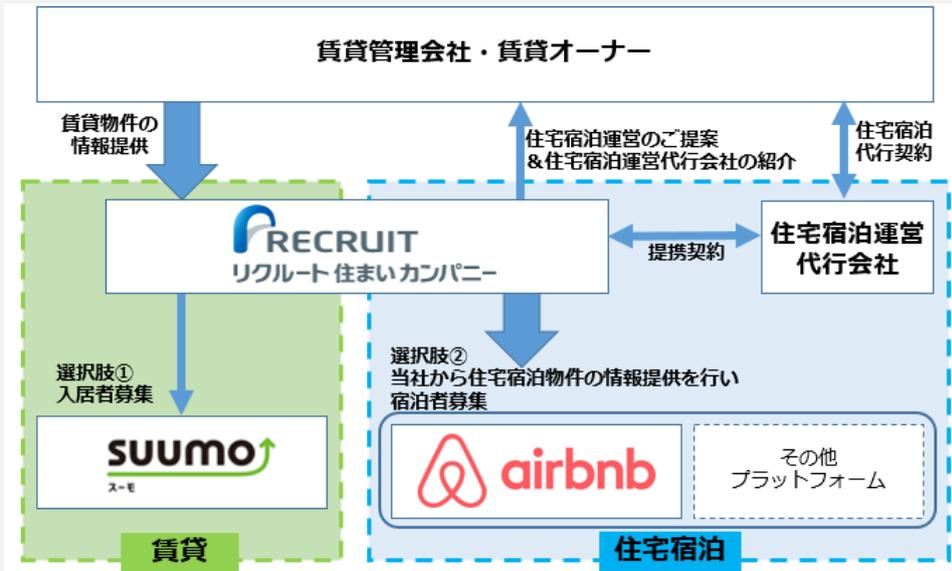
なお、同社が既存住宅を買取再販する際は、物件の地盤や建物構造を検査した結果を踏まえ、建物に対して最長10年間の建物・設備・地盤保証を付ける。また、VRと遠隔通話の技術を活用した、不動産仲介店舗などを訪れなくても気軽に物件を内見できるVR遠隔接客ブース「どこでもストア」を導入する。戸建住宅や分譲マンションなど最大500件の不動産物件について、VRゴーグルで物件の広さなどを確認できる。

[リリース：大和ハウスグループ](#)

● リクルート、Airbnbと業務提携で住宅宿泊関連事業に参入：リクルート住まいカンパニー

リクルート住まいカンパニーは1月17日、Airbnbと業務提携し住宅宿泊関連事業に参入することを発表した。SUUMOに掲載中の賃貸管理会社や、賃貸オーナーに、空き部屋を活用した住宅宿泊運営を支援し、賃貸物件の収益向上に寄与することを目指す。賃貸物件の情報を提供すると、従来通りSUUMO上で入居者募集を行うことに加え、物件の空室時に住宅宿泊運営を提案する。住宅宿泊運営の際は、同社と提携契約を結んだ住宅宿泊運営代行会社を利用し、Airbnbなどのホームシェアリングプラットフォーム

フォームを通じて、全世界から利用者の集客を行うことが可能となる。また、通常の Airbnb サイトでの集客のみでなく、特別サイトを通じた集客施策も展開される予定。



[プレスリリース：リクルート住まいカンパニー](#)

● ビットコインで不動産売買：イタンジ

イタンジは1月10日より、仮想通貨で不動産の売買ができる新サービス「HEYAZINE COIN（ヘヤジンコイン）」を開始した。「HEYAZINE COIN」は、物件の売買代金だけでなく、仲介手数料や諸経費についてもビットコインにて決済し物件を購入出来るプラットフォームサービスである。これによりスムーズな不動産売買取引が可能になるとしている。1月10日時点の取り扱いの物件は7物件であるが、2018年9月までに物件掲載数1000件、取引数300件を目指す。

[プレスリリース：イタンジ](#)